

(5) 在新民府居留民關係

S 1.1.1.0-3

4737

0161

REEL No. A-0078

0099

アジア歴史資料センター

寫送先

11.1.0.21-1  
會文人文哲情條通歐亞  
計書事化報約商米細亞

電信課長

大臣

次官

昭和6 一二八〇一 暗  
幣原外務大臣  
第六五七號

奉天 十九日後發  
本省 九月二十日前着

林總領事

亞、人

往電第六四八號ニ關シ  
新民府應援ノ警官隊ハ危險ノ場合ヲモ考慮シ七名ヲ派遣シタル處本  
日午後三時新民府へ無事到着シタルニ付同地ニ五名ヲ殘シ二名ハ其  
車ニテ歸奉シタリ新民府在留邦人全部無事  
支、北平、南京へ轉電セリ

S 1.1.1.0-8

4739

0163

外務省

寫送先

會文人文哲情條通歐亞  
計書事化報約商米細亞

電信課長

大臣

次官

昭和6 一二七〇九 暗

幣原外務大臣

第六四三號

本官發新民府宛電報

第二號

貴地邦人保護ノ爲警官五名十九日午前十一時當地發「モーターカー」

ニテ出發ス

大臣へ轉電セリ

奉天 十九日前發  
本省 九月十九日前着

亞、人

林總領事

S 1.1.1.0-8

4738

0162

外務省

録件名 滿洲日支軍警衝突大事件  
在晋邦人保護電報

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

昭和6 一二八七九 暗

奉天 二十日後發  
本省 九月二十日後着

亞

幣原外務大臣

林總領事

第六六號

往電第六五七號ニ關シ

其後在新民屯分館主任ヨリ支那敗殘兵多數同地ニ到着シ十九日夜我領事分館ヲ襲撃セントスル氣配アリ土屋主任ヨリ同地中國側官憲ニ交渉シ取締ラシメタル結果同夜ハ無事ナリシモ敗殘兵尙増加ノ傾向モアリ今後ノ狀態氣遣ハルルニ付二十日夜迄ニ軍隊派遣アル様手配アリタキ旨電話アリタルカ軍側ニ於テハ同方面ニ兵力ヲ割クノ餘裕無シトノコトナルノミナラス此際軍ノ行動區域ヲ同方面迄擴張スル

外務省

コトハ慎重考慮ノ要アルニ付不取敢本官ヨリ同主任ニ對シ應援ノ爲差當リ更ニ五名ノ醫官ヲ派遣スルコトトスヘキニ付同官ノ裁量ニ依リ居留民引揚手配方至急措置方指令シタリ

外務省

S 1.1.10-8

4741

0165

S 1.1.10-8

4740

0164

記

要綱部第二編

要綱部

機密第一五一號

第二課

通

昭和六年九月廿三日 別紙添附 接受

CH

昭和六年九月十九日

在新政府

分館主任 土屋波



外務大臣 幣原喜重郎 殿

昭和六年九月十九日 附極密公報第六一號  
夫中 天總領事 宛 公信 寫 送 付

件 名

一、軍隊派遣防怯書送付

S 1.1.1.0-8

4742

0166

REEL No. A-0078

アジア歴史資料センター



寫

機密第六一號

昭和六年九月十九日

在新民府

分館主任 土屋波平

在奉天

總領事 林久治郎 殿

軍隊派遣陳情書轉送方ノ件

昨十八日夜貴地ニ於ケル日支兵衝突事件ニ関シ  
当地在留民ハ評議ノ結果別紙陳情書ノ通り  
軍隊ノ至急派遣方陳情アリタル處在ハ全然豫  
期セザリシ偶發事件ナリシヲ以テ婦女子ノ安全地帯

在奉天日本總領事館新民府分館

別紙添付

避難モ既ニ時期ヲ失シ莫ニ孤立無援ノ状態ニ陥リ  
加也当地唯一ノ通信機關モ今朝既ニ切斷セラレタル  
上猶今夕中ニハ奉天ヨリ移動シテ中ニ兵約四  
千(一團旅)到着ノ筈ニテ市中ハ既ニ宿舎ノ割  
当完了ニシタル趣ナリ以テ一般在留民ハ彼等ノ未  
着後如何ナル報復手段ヲ蒙ルルヤモ計リ難シト  
テ非常ニ不安ニ駆レテ居リ小官ハ一般在留民ニ對  
シ差當リ婦女子ヲ尙能ニ避難スルニトニ取計ハト共  
ニ新民縣長ニ保護方申入レ置キタルモ平素無制ナ  
ル支那軍隊ノ下ニテ到底中國側官憲ノ保護ニ信  
頼シ得ラレス他方我軍隊ハ奉天長春方面ノ中國  
各機關ヲ佔領シタル關係モアリ以テ上ハ更ラニ皇軍ヲ  
当地ニ進メ現地保護ノ手段ヲ撤底スルニトニ取計

在奉天日本總領事館新民府分館

S 1.1.1.0-8

4744

0168

S 1.1.1.0-8

4743

0167

ハレ及希望ノ餘リ斯ク係情書ヲ提出シタル次第ナリ  
 就テハ別紙係情書記載ノ要旨御参考ノ上至急  
 何分ノ儀御配慮相成被取急御依頼申  
 進ス  
 本信寫送付先  
 外務大臣

在奉天日本總領事館新民府分館

S 1.1.1.0-3

4745

0169

陳情書

新民府居留民ハ本日這回一日支衛突事件ニ関シ民會ニ會合シテ記實狀ニ因リ現地保護必要上至急軍隊ノ御派遣方當局ニ對御取計被下度茲ニ陳情書及提出候也

一當地目下ノ現状(十九日午後〇時)ハ表面靜穩ヲ示シ居レドモ各方面ノ情報ニ因レバ今夕ノ北寧線ニ依リ奉天方面ヨリ支那兵(東北邊防司令長官公署衛隊全部約四千名)來新ナル趣ナリ尚西方ヨリ已ニ當地ニ到着セル支那兵若干アリ尚當地常駐ノ兵約八百名アリテ今後益々増員ナル模様ニアリ若東北邊防軍未新ニ関シ同隊第一隊少尉李吐崑ハ當地宿營設定ノ爲來新シ目下宿舍手配中ナリ

二尚本日(十九日)午前九時セシ分ヨリ當地ト奉天トノ唯一ノ通信連絡機關タル電話ヲ支那側ニ於テ斷線セル爲通信連絡不通ノ状態ニ在リ何時如何ナル事件突發スルモ其通信スラ不可能ノ状態ナリ

三這回ノ事件ハ從來ノ地方的暴動ト異ル對日事件ニシテ其ノ目標トスル処ハ日本人ナルヲ以テ如何ナル復讐的行爲ニ出シレモ知レス全居留民戰々競々ノ内ニ在リテ北寧線列

S 1.1.10-8 4747

S 1.1.10-8 4746

0170

率ノ利用不可能ナル爲全ク進退極マレル現状ニアリ。  
右實情御賢察ノ上此際至急奉天ヨリ軍隊ノ派遣方  
御取計被下度茲ニ居留民一同ヲ代表シ謹ンデ及  
陳情候也

昭和六年九月十九日

新民府在留民代表

居留民會長 三戸磐太郎



在新民府  
分館主任 土屋波平殿

引カ

S 1.1.1.0-3

4749

S 1.1.1.0-3

4748

0171



電信寫

要統計  
敗兵

昭和6

幣原外務大臣

第六七一號

略

奉天  
本省

九月廿一日前着

林總領事

亞

新民府土屋主任ヨリ左ノ通電話ニテ報告越シノ上尋軍方依頼アリタ

リ  
既報ノ通東方ヨリ移動シ來レル支那兵約一千名ハ昨十九日夜入城シ  
タルモ本朝迄ニ悉ク撤退セリ在留民ノ最モ不安ニ感シタル第一夜ハ  
市中何等ノ事故モ發生セス平穩又當館ニ避難セル婦女子異狀ナシ男  
子ハ警察官ヲ應援（巡查五名ヲ含ム）撤背構内、學校、電話局等營  
救セリ支那官憲ハ既ニ本邦人ノ生命財産ノ保護ヲ聲明シ居ルモ小  
官ハ今後共更ニ支那官憲ヲ督勵シ其生命ヲ全フセシムル所存ナリ

林總領事  
九月廿一日前着

0172

S 1.1.1.0-8

4750

抄

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

分類 A.1.1.0.2/-1.)

寫送先

記録件

昭和6 一二九四二 暗 奉天 二十一日前發 本省 九月二十一日前着 亞、人

幣原外務大臣 林總領事

第六七四號

往電第六七一號ニ關シ

其後土屋ヨリ中國側地方官憲ニ於テ充分責任ヲ以テ邦人ノ保護ニ當ルヲ以テ此點ハ充分安心アリタキ旨言明ノ次第アルト其後ノ形勢ニ顧ミ今暫ク事態ヲ靜觀シタル上態度ヲ決スル様致シタキ旨電話アリタルニ依リ警官ノ増派出ハ一時見合セトシタリ

外務省

S 1.1.1.0-8 4751

0173

抄

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

分類 A.1.1.0.2/-1.)

昭和6 三三〇七三 暗 奉天 二十一日後發 本省 九月二十二日前着 亞

幣原外務大臣 林總領事

第六八八號

新民分館主任ヨリ

二十一日朝新民縣長ハ本官ヲ來訪シ當地駐屯兵ハ彙ニ御約束セシ通リ昨夜中全部西方ニ引揚シメ又市中ノ治安維持在留日本人ノ生命財産ハ絶對ニ保障スヘシト言明シタルカ市中一般狀況モ現在ノ所概ネ縣長ノ言明ニ詐リ無シト認メラレタルニ依リ在留民ト協議ノ上男子ハ希望ニ依リ歸店店舗ヲ開クコトトシ其他ハ暫ク當館ニ殘留スルコトトシタリ

記録 陽明寺中橋交り至同橋一橋水方即人係及引揚同係

外務省

S 1.1.1.0-8 4752

0174

寫送先

文 人 文 情 條 通 歐  
書 事 化 報 約 商 米

次 官  
大 臣

電信課長

亞細亞

(分類 1.1.0.21-1)

昭和6年 10月22日 暗

奉天 本省

十月廿二日後着

亞

幣原外務大臣

林總領事

第一〇七五號

新民府發本官宛電報

第二二號

貴電合第六七七號 (大臣發奉天宛電報第二五九號) ニ關シ

(一) 當管内在留民中引揚ケタルハ男子一二、婦女子一七、合計二九名  
ニシテ引揚先奉天二五名、朝鮮四名但シ引揚中救濟ヲ要スト認メ  
ラルルモノナシ

(二) ナシ

⑤

記録件名  
満州日支軍衝突事変(保保科)  
在留邦人保護及引揚關係

尙二十日以來英國其他ノ外人新聞記者天津方面ヨリ當地通過赴奉ス  
ル者相當多シ

外 務 省

外 務 省

S 1.1.1.0-8

4754

0176 (記)

S 1.1.1.0-8

4753

0175

(三) 朝鮮人二〇六名但シ成ルヘク長ク居据ラシメタク支那側ニ對シ保護方交渉中

(四) 保護費用概算三百圓

(五) ナシ

(六) 九月二十三日新民縣藍旗堡ニ於テ内地人一名敗殘兵ニ慘殺セラル  
損害高調査中

大臣へ轉電アリタシ

外務省

S 1.1.1.0-8 4755

0177

秘

電信寫

昭和6

暗

奉天  
本省

九月廿四日 前着

原

電

林總領事

第七三五號  
帶原外務大臣

新民屯ニ向ヒタル軍用車ハ午後五時四十五分巨流河ニ達シ同地ヨリ  
ハ歩兵一小隊裝甲車ニ搭乗シテ新民府ニ向ヒ午後六時新民府在留邦  
人及支那僑ノ出迎ヲ受ケ該メテ平穩ニ入市セリ同地ニハ中國側軍  
隊ヲ見ス公安局ハ任意巡警ノ武器ヲ提供スル旨ヲ申出テ居ル旨新民  
府ヨリ皇姑屯驛迄電話通報アリタル趣ナリ  
支、天津、青島、瀋京、北平へ轉電セリ

6 1.1.1.0-8

4756

0178

秘

電信寫

昭和6

幣原外務大臣

第七九五號

暗 奉天 本省

九月廿八日後着

林總領事

亞

新民府分館警察者ヨリノ電話ニ依レハ新邱大新公司員廿三名ハ廿七日新民縣第六區ノ沙嶺崗子ニ無事到着シ同區公安局ヨリ一行保護方ニ付新民府領事分館ニ打合アリタル結果日本軍歩兵十二名及支那側歩兵一個中隊四十名ト共同ニテ保護スルコトトナリ廿八日朝沙嶺崗子ヲ出發スル善ナリ

支、南京、天津、北平へ轉電セリ

S 1.1.10-8

4757

0179

寫送先

會文人文情條通歐亞  
計書事化報約商米細亞

大臣  
次官

電信課長

(分類 A.1.1.0.21-1)

昭和6 一四二二八 平 奉天 九月廿八日後發 亞  
 幣原外務大臣 本省 九月廿九日前着 林總領事  
 第八〇一號  
 新邱在留民全部 (館員警察官ヲ含ム) 廿八日夜當地ニ到着セリ  
 右新民屯へ電話濟  
 轉電先 北平 公使 天津

外務省

S 1.1.1.0-8

4759

0181

寫送先

會文人文情條通歐亞  
計書事化報約商米細亞

大臣  
次官

電信課長

(分類 A.1.1.0.21-1)

昭和6 一四八七 暗 奉天 九月二十八日後發 亞  
 幣原外務大臣 本省 九月二十八日後着 林總領事  
 第七九七號  
 往電第七九五號ニ關シ  
 新邱在留民全部二十八日午後無事新民府ニ到着セル旨同地分館主任  
 ヲリ電話アリタリ  
 支、南京、北平、天津へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-8

4758

0180

左

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

送先

分類 A.1.1.0.21-1)

昭和6-1-4570 暗

奉天 本省 十月一日後着

幣原外務大臣

第八二九號

林總領事

新民府分館ヨリノ電話ニ依レハ同地駐屯ノ我軍隊約二百五十名ハ三  
十日午後七時半巨流河ニ引揚ケタル由(巨流河ニハ同地ノ鐵橋保護  
ノ爲約五十名駐屯中ナリト)尙新民府公安隊ハ目下附近部落ノ匪賊  
討伐ニ出動中ナル爲在留民ノ不安著シク軍側ニ引續キ一個中隊ニテ  
モ殘留方請願ノ儀アル由ニ付館員ヲシテ聯盟並ニ米國方面ノ最近ノ  
模様並ニ政府ノ方針等ヲ説明シ縣長ニ對シ出動公安隊ノ歸還方並ニ  
在留民保護方嚴重要求スルト共ニ必要ニ應シ婦女子ヲ領事館ニ收容

記録件

亞

外務省

S 1.1.1.0-8

4760

0182

リ  
スル等適宜措置シ一兩日形勢ヲ見ル方然ルヘキ旨申傳ヘシメ置キタ  
支、北平、南京、哈爾濱、吉林へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-8

4761

0183



電信寫

昭和6

平 關東廳 本省 十月六日後着

亞

箱場

永井外務次官

コ第四一六號 (至急、親展)

(一)奉天城内治安ハ漸次改善セラレ、來リシモ場末ハ尙匪賊ノ脅威去

ラス一昨夜晩ク北大營附近ノ煉瓦工場ニ六、七名ノ敗殘兵侵入シ

支那人二名ニ重傷二名ニ輕傷ヲ負ハセ命品ヲ強奪逃走ス小南門及

南市場ニモ各數名ノ敗殘兵來襲シタルモ附近軍隊ニ擊退セラレタ

リ昨日午前十一時新民府ヨリノ避難婦女子十二名着奉ス

(二)時局問題ニ對スル全滿市民大會ハ昨日午後七時ヨリ奉天 (三字不

明) 小學校ニ於テ開催セラレタルカ聴衆一千以上ニ達シ各婦士ト

モ何レモ未タ擯兵ノ不可ナルヲ諒シ聴衆ニ相當感動ヲ與ヘ午後十  
時二十分散會セルカ辯論中感情ノ迸リヨリ會場紛糾シ婦士一名右  
腋下ニ負傷シタルモ輕微ナリ

(三)四平街警察署員十名、守備隊員三十七名ハ昨日午前十一時ヨリ匪

賊討伐ノ爲 (キウギウシヨ) 東方ニ向ヒタルカ伊通縣高地ニ於テ

午後二時ノヲ發見交戦ス賊ノ頭目 (ダイロウキツタン) 及敗殘兵約二

百名ニシテ輕機關銃ヲ有シ猛烈ニ抵抗シ交戦三時間ニ及ビ賊六ヲ

斃シ負傷十四、五名アル見込、我方ニ於テハ守備隊佐藤一等卒戰

死シ下士一、兵卒三ノ負傷者アリ警察官ニ負傷無ク昨夜九時引揚

ク

S 1.1.1.0-8

4763

S 1.1.1.0-8

4762

0184

揚

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

(分類 1.1.1.0, 2/-/)

昭和6 一五三九一 暗

奉天 本省 十月九日後着

亞

幣原外務大臣

第九一四號

林總領事

九日新民分館ヨリノ電話ニ依レハ彰武縣住鮮人二百六名(水田ハ彰武ノ北方四十支里ニ在リ)ノ保護方ニ付テハ義ニ同縣知事ニ對シ嚴重要求シ置キタル處九日朝鮮人代表來館ノ上最近敗殘兵集結ノ模様ニ鑑ミ婦女子引揚ニ付保護願出テタル由ニ付當館ヨリ最近撫順、鐵嶺ノ奥地並公太堡ニ對スル軍ノ一時的出動並飛行機出動ノ事情ヲ說明シ未タ現實ニ被害ノ事實無ク目下收穫ニ從事中ナルニ付テハ居住地域モ相當奥地ナルコトニモアリ必要ニ應シ當方ニ於テ軍側ト可然

記録付 滿州日支軍衝突ノ要因係一併  
在 在 邦人係被擄ノ揚國係

外務省

S 1.1.1.0-8 4764 0185

聯絡スヘキニ依リ鮮人ニ對シ今暫ク現地ニ於テ事態ノ推移ヲ見ル様說得スルト共ニ我軍出動ノ必要ヲ見サル様充分保護方更ニ縣知事ニ嚴重電報スヘキ旨指示シ置キタリ  
朝鮮總督へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-8 4765 0186

48

電信課長



昭和6

一六三一五

暗

奉天  
本省

十六日後發  
十月十七日前着

亞

幣原外務大臣

第一〇〇三號

新民府發本官宛電報第一五號

外務大臣發閣下宛電報第二六〇號ニ關シ

當地ニハ本月二日以來士官並ニ護衛ノ日本兵十名内外巨流河ヨリ來  
往シ更ニ七日以來ハ夜間ノ警戒ヲ兼ネ當地ニ宿泊スルコトナリシ  
カ右ハ在留民ノ交渉ニ依リ單ニ情報蒐集又ハ聯絡ノ意味ヲ以テ巨流  
河守備隊長ノ裁量ニ依リ實施セルモノノ如クナルモ外國人ノ當地視  
察又ハ北寧線ニ依ル當地通過ハ今後頻繁ナルヘキニ付少數ナレト

嘉邊外

會文人文情條通歐  
計書事化報約商米

亞細亞



分類 A.1.1.0.21-1)

外務省

S 1.1.1.0-8 4766

0187

記録付

モ日本軍ノ當地ニ在ルコトハ外國人ヨリ「駐屯」ト誤解セララルル虞

ナキヤニ付聯絡士官ヲ通シ守備隊長ノ考慮ヲ促シ置ケル處十三日以

來今日迄ノ處日本兵ノ來往ナシ尙在留民ノ保護ニ付テハ從來ヨリ警

察官ヲ督勵シ何等遺憾ナキ状態ナリ因ニ在上海代理公使(西班牙)

ハ未タ當地ニ來着セス爲念

大臣、公使、北平、南京、上海ニ轉電アリタシ

支ヨリ上海ニ轉電アリタシ

外務省

S 1.1.1.0-8 4767

0188

大臣  
次官  
電信課長  
亞細亞  
歐米  
通商  
條約  
情報  
文化  
人事  
文書  
會計

(分類 A.1.1.0.21-1)

昭和6 一六六七八 暗

奉天  
本省

十九日後發  
十月十九日後着

亞

幣原外務大臣

林總領事

第一〇四二號

新民府發本官宛電報

第一八號

往電第一三號ニ關シ

彰武縣長ヨリ鮮農ノ保護ニ付テハ絶對保障スル旨回電アリ爾來何事  
モ無カリシ處同縣下尙屯居住鮮農二名昨夜當地ニ逃レ來リ語ル處ニ  
依レハ同地方ハ匪賊横行スルノミナラス流言蜚語盛ニシテ四戸廿五  
名ハ仕事モ手ニ付カス專ラ脱出ノ機ヲ狙ヒ居ルモ婦女子ヲ有シ困難

外務省

S 1.1.1.0-8

4768

0189

シ居ルヲ以テ救出アリタキ旨願出アリタリ依テ直ニ彰武縣長ニ右鮮  
農ノ保護方再ヒ申入レ置キタルモ前記二名ハ現地ノ危險ヲ慮リ收穫  
物ヲ放棄スルモ復歸セストノコトナリシヲ以テ本日旅費ヲ給シタル  
ニ貴地ニ赴キタリ  
此狀況ヨリ察スレハ今後モ斯ル避難者アル見込ナリ  
大臣、朝鮮總督へ轉電アリタシ

外務省

S 1.1.1.0-8

4769

0190

事件費  
文送

第13174号

6年10月29日 8時4分發

電信課長 39

39

39

(原議用紙甲) 圓形

主 管 亞細亞

主 任 亞細亞

(起奉限無) 年十月廿三日

件 新政府官由引揚及被害調再  
電方ノ件

名込綴

宛 林 總領事 宛

發 部 外 務 省

平 暗 V 第 三 八 〇 號

新及府へ轉電了り候に

第六號

奉天宛  
貴方宛 奉天宛  
電方ニテ 號ノ電シ

一ノ引揚者ニ九名ノ内宛ノ外務省

電信案 外務省

(原議用紙乙)

(三) 一編ノニ〇名ノ既ニ分給所在他ニ引揚案

レルモノノ如クモ解セリ候に然ラハ(一)ノ

(四) 〇ニ依リテ

(五) 一三〇〇名中ニ既ニ支出シタル分モヤ

(六) ハ徳領事員十人ノ分給が大方ノ被害者宛

分三六三號ニ依リテ

左再電了り候に

電信案 外務省

S 1.1.1.0-8

4771

0192

S 1.1.1.0-8

4770

0191

76

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

(分類 1.1.1.0.2/-1)

昭和6 一八〇七九 暗

奉天 本省 十一月三日 前着

亞

幣原外務大臣

林 總領事

第一一六五號

新府發本官宛電報

第二六號

今回ノ事變發生以來新民縣ハ集團的馬賊又ハ蒙匪ノ横行盛ニシテ當  
地ノ周圍二邦里以外ノ目星キ村落ハ殆ト匪賊ノ蹂躪スル處トナレル  
狀況ナリ(支那側ノ觀測ニ依レハ東ニハ日本軍西方ニハ支那軍アル  
ヲ以テ近縣ノ馬戰ハ悉ク新民縣ニ遁入シタルモノナリト)然ルニ當  
地ハ縣政府所在地ナルト共ニ既電ノ通り支那側ハ在留本邦人ノ生命

外務省

S 1.1.1.0-8 4772

0193

記録件 滿洲日支衝突關係一件

財産保護並ニ治安ノ維持ニ付絕對ノ責任ヲ負フトノ言明ヲ爲シタル  
手前アリ縣長ハ地方ノ警備ハ之ヲ全然放棄シ專ラ當地ノ治安維持ニ  
全力ヲ集中シツツアル現狀ナリ

他方我軍部ハ當地在留本邦人ノ保護ニ付多大ノ注意ヲ拂ヒ居ルモ占  
據地帶ト異リ直接警備ニ關與スル能ハサル關係上先ツ支那側ノ治安  
維持ニ一任シ若シ實力及ハス本邦人ノ生命財産危殆ニ瀕シタル場合  
當館ヨリ通報ヲ發シタル際來援スルコトニ既ニ當館ニ於テ支那側及  
居留民カ指揮官トノ間ニ打合ヲ爲シタル事情アリ支那側モ力強ク感  
シ居ル次第ニシテ爾來匪賊情報ハ隨時當館ニ通知シ居ル狀況ナルカ  
現在ノ處我軍ノ來援ヲ要スルカ如キコトハ萬々無之キ見込ナリ  
尙支那側ニ於テモ漸次地方ノ治安維持ニ著手スル餘力生シタルヲ以

外務省

S 1.1.1.0-8 4773

0194



寫送先

會文人文情條通歐  
計書事化報約商米

大臣  
次官

電信課長

分類 1.1.0-21

昭和6 一九五六〇 暗 奉天 十五日發  
本省 十一月十五日後着 亞、會

幣原外務大臣 森島總領事代理

第一二九五號

變以來引續キ當館ヨリ新民府へ派遣中ノ警官五名ノ經費月額千五百圓ヲ要スル次第ハ往電第八二四號ノ通ナルガ右警官ハ關東廳巡查ノ關係モアリ本件經費九、十兩月分約二千圓至急電送相成度尙事變ニ關聯シ敗殘支那兵撫順縣下ニ潛入墮所ニ多數鮮人ノ殺害暴行等アリタルニ付鮮人保護並ニ被害狀況等調査ノ爲十月下旬警部補以下二十一名ヲ三班ニ分チ同縣下各地へ出張セシメタルニ付右御追認ノ上之カ經費約千六百圓御支出相成度シ

計會 6.11.18 付受

記録 滿洲日支衝突事變關係ニ付在番邦人保護及以川持下係

S 1.1.1.0-8

4775

0196

テ本日(三十日)二百二十名ノ討伐隊ハ最モ匪賊ノ跋扈シツツアル北方ニ出發セル處若シ效力アル場合ハ縣下地方村落ハ追々平穩ニ赴クモノト存セララル

大臣へ轉電相成タシ

支、南京、北平、天津へ轉報セリ

外務省

S 1.1.1.0-8

4774

0195



新武分館  
保通

機密公第 七 號

昭和六年十一月十五日

在新政府

分館主任 土屋 玻 平



外務大臣男爵齋藤實重郎殿

事変後ニ於テル管内朝鮮人保護状況報告ノ件  
今更ニ事変直後当地居住邦人ノ保護方一段落ノ状況報告  
八月下整理中)ヲ告ルト共ニ管内新武縣(人口二百六名)並  
新民縣公天堡(帶)二(四百三十九名)ノ居住朝鮮人ノ安  
否氣遣(公天堡)次第ナルカ公天堡方面ハ我警察官派  
遣アルニテ事天トノ聯絡ハ寧口当地ヨリモ便利ナ

在奉天日本總領事館新民府分館

昭和六年十一月十六日

三浦

三浦

昭和六年十一月十六日



0198

S 1.1.1.0-8 4777

在奉天日本總領事館新民府分館

ル事情アルヲ以テ萬一場合ハ臨機ニ處置不可能ナ  
ラスト存シタル後新武縣居住朝鮮人部族ハ当地ノ  
西北方百二十英里乃至二百英里ノ奥地ニテリ加東  
遼昌園方面ヨリ敗殘兵ノ入ルニシテ風貌アルト共ニ  
海鐵道沿線居住朝鮮農ノ處叙説モ傳リタルヲ以テ  
此方面朝鮮農ノ安否朝鮮カラス氣遣ルニ至リタルモ如何也  
地理的關係上直接我方ノ保護ノ手ヲ下ス可  
能ナル地域ナルヲ以テ十月六日不取敢祈轄新武縣長  
ニ對シ消息問合せ並ニ少レカ保護方電報ヲ以テ申入置キ  
タル處直キニ  
鮮僑甚安、敵縣加意保護、請勿慮  
トノ樂觀的由電ニ接シタリ、然レ十一月九日同縣下  
家寓棚、鮮農ニ名使者トシテ米館奉天敗殘兵多



数人込不穩、流言ヤク身也、危険ヲ感シ、同引揚渡  
 二付保護ヤク、中出マリ、力前記、新武縣長、  
 未電モアリ、且ソ多數、婦女子ヲ抱、ハ打通線、不通  
 折柄陸路当地ニ引揚、ル、ハ殆道カ殊ニ馬賊、集  
 中シ、アル地域ニ、アル關係、却テ危険、ル、共ニ箱、收  
 獲、モ、半ニアル事情等、ツ、考慮、シ、出来、得、ハ、第地、留、  
 ラ、シ、後、キ、希望、ノ、餘、リ、遂ニ、新武縣長、ニ、對、シ、再、ニ、実、状  
 ヲ、電、報、シ、タル、處、翌、十月、十日、鮮、農、ハ、依然、異、状、ナ、キ、旨、  
 ヲ、電、報、シ、タル、ヲ、以、テ、右、使者、ニ、其、ノ、電、文、ヲ、示、シ、未、ダ、引  
 揚、ノ、時、期、ニ、ア、ラ、サ、ル、旨、說、示、ス、ル、ト、共、ニ、萬、一、場、合、心、得  
 方、ニ、付、適、宜、指、示、ヲ、與、ヘ、引、返、ラ、シ、メ、置、キ、タ、リ、  
 越、ヘ、テ、十月、十七、日、夜、間、同、縣、高、屯、居、住、鮮、農、一  
 名、末、館、ニ、同、地、鮮、農、保、護、方、申、出、マ、リ、タル、處、前、記

在奉天日本總領事館新民府分館

S 1.1.1.0-8 4778

0199

通、リ、同、地、中、國、官、憲、ヨリ、責、任、アル、田、谷、ニ、接、シ、アル、次、第、  
 ア、ル、ヲ、以、テ、其、ノ、事情、ヲ、說、示、シ、タル、處、引、返、サ、シ、タル、旨、  
 同、人、等、ハ、敢、途、匪、賊、ノ、遭、難、ヲ、恐、レ、婦、孺、等、ハ、希、望、ナ、シ、ト、シ、  
 ト、テ、引、シ、テ、以、テ、旅、費、等、ヲ、與、ヘ、タル、ニ、同、人、等、ハ、任、意、奉、天、ニ、引  
 揚、タル、處、更、ニ、同、月、十九、日、亦、同、地、ヨリ、一、名、鮮、農、末、館  
 ニ、同、様、申、出、マ、リ、タル、後、奉、天、ニ、引、揚、タ、リ、依、テ、新、武  
 縣、長、屢、次、田、谷、ハ、遠、隔、ノ、地、域、ニ、アル、ヲ、奇、ニ、察、ト、シ、特  
 別、責、任、逃、レ、ト、田、谷、ヲ、為、シ、居、ル、ニ、ア、ラ、サ、ズ、ト、疑、念、起、リ、  
 ヲ、以、テ、本、館、ハ、十月、十九、日、書、面、ヲ、以、テ、詳細、保、護、方、ヲ  
 申、出、ス、ル、ト、共、ニ、萬、一、場、地、ニ、難、難、ス、ル、ハ、已、ケ、テ、得、ル、場、合  
 二、ハ、安全、保、護、ノ、方、法、ヲ、以、テ、不、占、ニ、付、同、合、ニ、シ、タル、處、同、月  
 二十、日、右、記、通、リ、田、谷、ニ、接、シ、タ、リ、  
 敬、覆、者、准

在奉天日本總領事館新民府分館

S 1.1.1.0-8 4779

0200

貴領事 函開茲為任在貴縣種稻鮮僑數在百餘名所因胡匪眾多恐生危險前曾電託保衛已蒙覆電盡力維持其安全敵館甚為放心但昨又有在貴境尚屯鮮僑二人來新報告該處胡匪聚眾到處槍掠甚是惶恐特由本函仍望貴縣長極力保護該等來新鮮僑生命財產免生危險為至荷尚萬不得已時該等來新避難貴縣長能否設法保其安全概新均祈不獲為盼等因准其查辦縣境內居住之鮮僑業經敵縣責令該管公安局及保備備地主分別負責切實保護並命各地主出具負責保護鮮僑切結又有各鮮僑村於敵縣長報告安全之報告書均存縣政府可保護實慮現在敵鮮僑等頗稱安全甚為危險

在奉天日本總領事館新民府分館

0201

S 1.1.1.0-8 4780

至於少數胡匪已經收隊肅清對於地方亦無任何擾害如至必要時該縣人等必須赴新避難敵縣自能設法保其安全到縣相商函覆

貴領事查題千萬放心可也此致駐新領事分館

新武縣長 張恩 函開

中華民國二十一年十月二十二日

右一係新武縣長以鮮農保護并公安局及地主負責之責任命令予以地方之指示並酌量酌量且少數馬賊之改討伐之行也又當地之避難場合之安全保護手續已由中裁之概不該意之認也

此次第十之南來今日之五之遠處該地鮮農之何等困難之案之或新武縣長之回答之信之是也

在奉天日本總領事館新民府分館

0202

S 1.1.1.0-8 4781

地名	戸数	人口	備考
八堆子	九	五〇	
周家高棚	一〇	五二	
後北營子	四	二〇	
馮家高鋪	三	一四	
新古台	三	一五	
排山樓	一	八	
大坂	一	一五	
高屯	四	二五	
合計	三二	二〇六	

在奉天日本總領事館新民府分館

S 1.1.1.0-8

4783

0204

此等ノ小寮ニテハ、次第ニテハ、其ノ本月十日、朝鮮武庫  
 長ニ對シ、再ニ近狀同合ニテ、爲シタルニ、翌十日、電報ヲ以テ  
 鮮僑現狀甚安、請息念  
 トテ、依然異狀ナク、昔田舎ニ接シテ、高秋地方居住  
 鮮農、地域別統計、別表、通リニテ、兼テ奉天方面ニ、海  
 難シク、前記ニテ、除キ、其他ノ、原地ニ、留リ居ル、次、  
 ナル處者、地下ノ、聯絡ニ、極メ、不便ナル關係アリ、今後、時局、進  
 展如何、直接、該地、知事、與、地、店、住、スル、鮮、農、及、若、不、影  
 響、甚、大、ナル、次、不、能、付、今、後、之、意、分、理、意、ヲ、息、ク、ル、計、  
 存、シ、之、現、在、之、情、況、前、述、通、リ、テ、以、テ、概、要、在、ニ、テ、御、  
 承、相、成、度、狀、報、告、申、進、ス  
 本、領、事、官、送、付、先  
 公、使、北、平、奉、天、朝、鮮、總、督

在奉天日本總領事館新民府分館

S 1.1.1.0-8

4782

0203

馬  
昭和6.4.9.0.1.  
居留民取締費に係  
種多旅費に係  
アリ

(分類 A.1.1.0.21-1.)

昭和6 二〇四九四 暗 奉天 二十三日後發 亞・會

本省 十一月二十四日後着

幣原外務大臣

森島總領事代理

第一三七二號

往電第一二九五號ニ關シ

新民府及撫順縣下ニ出張セシ警察官旅費未々御送附ナク處理ニ困リ  
居ル次第ノ處最近ノ事態ニテ附屬地内外共軍ノ警備手薄ナル爲諸地  
方共附屬地附近ニ對スル匪賊襲來頻々タルモノアリ狀況ニ應シ軍隊  
ノ出動ヲ見居ルモ警察官ニ於テ協力ノ爲出動ヲ要スル場合鮮カラス  
又軍ノ出動不能ニテ警察官ノ出張ノ場合アリ此等旅費ハ既ニ別途  
支出方御考慮中ノ事ト拜察スルモ目下ノ事態ハ相當長引クモノト認

外務省

記録簿

は(七)

0205

6.10 S 1.1.1.0-8 4784

メラルルヲ以テ事件費中ニハ警察官旅費トシテ相當金額ヲ計上シ置  
カルル必要アルヘシト思考ス尙當方ニテハ集團の出動ノ場合ニハ關  
東廳トノ振合ヒモアリ打切り旅費トシテ現額支給ノ事ニ打合せ済ミ  
ナリ御參考迄。

在滿各領事ニ轉電セリ。

外務省

6.10 S 1.1.1.0-8 4785

0206

寫送先

會文人文情條通歐  
計書事化報約商米

大臣  
次官

電信課長

(分類 A. 5. 3. 0. 2-13)

昭和 6 二二七三二 暗 奉天 十六日後發  
本省 十二月十七日前着 亞

犬養外務大臣

第一五四一號

新民府發本官宛電報

第五一號

大臣發官宛電報第三二八號ニ關シ

當管内彰武縣ハ將來治安回復スルニ至ラハ現在ヨリ更ニ數百戸ノ集  
團的鮮人部落ヲ建設スル餘地アルヲ以テ之カ指導上差當リ同地ニ民  
會設置ノ要ヲ認ム現在會員概數二百名新設費二百圓維持費年額金一  
千圓

外務省

S 1.1.1.0-8 4787 0208

寫送先

會文人文情條通歐  
計書事化報約商米

大臣  
次官

電信課長

(分類 A. 1. 1. 0. 21-1)

昭和 6 二二五二五 暗 奉天 十三日後發  
本省 十二月十四日前着 亞

犬養外務大臣

第一五二八號

新民府發本官宛電報

第四八號

大臣發貴官宛電報第三四一號ニ關シ

一内地人無シ朝鮮人(一)ノ引揚先奉天ニ(成年男子)

ニナシ

ニナシ

外務省

S 1.1.1.0-8 4786 0207

朝鮮人... 朝鮮人民... 係

260  
p805



尙同地ニ警察官派遣所ヲ設置セハ鮮人ノ保護助長ハ一層有效ナリト  
存セラル  
大臣へ轉電アリタシ

外務省

S 1.1.1.0-8 4788

樞密院  
樞密公第一八二號

昭和六年十二月二十四日

在新民府

分館主任 土屋 琰 平



外務大臣 犬養 毅 殿

管内勸武縣居住鮮農避難報告ノ件  
當館管内勸武縣居住朝鮮人ノ保護狀況ニ付テハ昭和六年十一月十五日附樞密公第一七二號通信報告ノ通りナル處十二月二十二日同地尚也附近居住鮮農別表ノ如ク合計二十二名打道線經由当地ニ引揚ケ来リタリ  
右引揚民ノ報告ニ依リハ新勸武縣長張恩禹ハ既報ノ通り鮮農ノ保護ニ付地ニ對シ責任ヲ負シ且ツ公安局員ヨシテ隨時鮮農部ヲ巡視セシ保護撤底シ居タリシカ十一月十二日前後張縣長ハ日本側ニ

在奉天日本總領事館新民府分館

S 1.1.1.0-8 4789 0209

好意ヲ寄セ居ル親日派ナリト、理由ヲ以テ同地駐屯支那軍隊ニ拘禁既ニ銃殺サレタリト、説モヤリト云フ)セラレタル以來地主等ノ態度一変スルト共ニ匪賊ノ横行ニ堪ヘズ收獲額ハ全部地主借財ニ提供シ避難シ来レルモノナリ処尚他郡落難人ノ消息ハ詳細不明ナリト、趣ナルカ勸武縣長ハ今次事變發生以來當館ノ申入レニ對シ誠實ニ鮮農保護ノ手段ヲ講シ居タルハ電報並公文ニテ承知シ居タル次第ナルモセキ爲メ親日派トシテ拘禁又ハ銃殺サレタリト、鮮農ノ言、如クナレハ誠ニ氣ノ毒ノ水ナリト存セラル

尚右引揚鮮農ヲ当地ニ收容シ置クコトハ事實上不可能ナリト付当地大塚本部ノ了解ヲ速ケ十二月二十三日軍用列車ニ依リ奉天ニ移送セリ

此般ノ取敢報告ス

本信寫送付先

公使 北平 奉天 朝鮮總督外事課

在奉天日本總領事館新民府分館

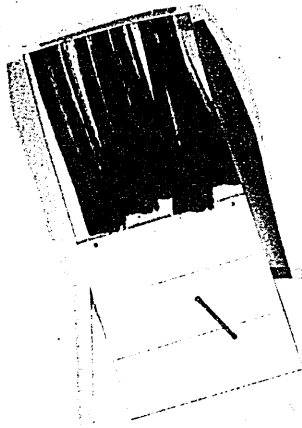
S 1.1.1.0-8 4790 0210

彰武縣高屯避難民氏名

原籍慶北安東郡北面洞花洞主 現住所 彰武縣 賞屯	農業 元 許昌 妻 金 長 長男 道 亨 長女 正 玉 傭人 本 相 範	原籍慶北奉化郡法田面小志里主 現住所 彰武縣 賞屯	農業 徐 載 麟 妻 元 長 長女 蘭 伊 次女 貴 蘭 三女 終 禮
原籍慶南東萊面書里 現住所 彰武縣 賞屯	農業 南 基 勳	原籍全北南寧郡雲峯面新基里主 現住所 右 目	農業 朴 必 龍
原籍平北太川郡川後面川後洞主 現住所 右 目	農業 李 承 吉		

在奉天日本總領事館新民府分館

S 1.1.1.0-8 4791 0211



大  
母  
子

分類 1.1.0.21

機密公第九號  
昭和七年一月二十一日  
在新民府  
分館主任 土屋波平

外務大臣 芳澤謙吉殿

管内勸武縣居住鮮農避難報告一件  
本件 同シ送客年十二月二十四日附機密公第二八一  
號拙信ヲ以テ鮮農二十一名一群避難シ来リタル次  
茅渚報告申進置キル處今般日本軍力打通線  
ニ沿ヒ勸武ニ入 成シタルヲ 概會ニ詳報シ機ヲ失ヒ居

在奉天日本總領事館新民府分館

照和七年

第二

昭和七年壹月廿八日接受 D

在普邦人探獲引揚千係

S 1.1.1.0-8

4793

0213

現住所 同上  
東京  
金福  
妻 韓 七  
婿 文 十  
妻 金 九  
長男 文 十  
以上

在奉天日本總領事館新民府分館

S 1.1.1.0-8

4792

0212



ル鮮農十戸三十四名ノ一團別表ノ通り本月十七日当地ニ避難シ来リ救済方申出アリタル處当地ニハ避難所ノ設備無キノミナラス他ニ適当ノ仕事モ無セテ以テ泊ノ上翌十八日奉天迄移送シ置キタルカ同方面ニ於ケル匪賊ノ状況ヲ聞クニ頗ル無秩序無節制ニシテ金品ノ強奪ハ勿論婦女ノ凌辱事件モ鮮カラサレ次第ニシテ甚ク忍ビ難キ状況ナリトノ趣ナリ尚今日迄避難ノ機ヲ逸シ居タル居残りノ勸武縣居住鮮農ハ申ス迄モナク隣接セル遼平縣下居住者モ逐次各方面ニ避難シ来ル模様ナリトノ事トナリ此段一應報告ス

本信寫送付先

在奉天日本總領事館新民府分館

S 1.1.1.0-8

4794

0214

公使 北平  
奉天 朝鮮總督府外事課長

0215

S 1.1.1.0-8

4795

在奉天日本總領事館新民府分館

彰武縣避難鮮農名  
 原籍慶南東里 鄧東萊而九備里  
 現住所彰武縣周家窩舖

原籍慶南密陽郡上西田新洞  
 現住所彰武縣後北營子

原籍平南順川郡上仁面上仁里

在奉天日本總領事館新民府分館

戶主	長男	妻	戶主	三男	次男	長女	長男	妻	戶主
金成燁	宗得	金	崔道漢	海東	海東	扶豆	海珠	千長	金有漢
五十六才	五才	二十一才	二十八才	六才	八才	十一才	十七才	四十才	四十三才

S 1.1.1.0-8 4796 0216

原籍慶南昌榮郡奎谷面鶴浦里  
 同 平北定州鄧利原面六川洞

原籍平北義州郡古寧朔面西古洞

原籍平北鉄山郡下金面大成洞

原籍慶南密陽郡上西田新洞

在奉天日本總領事館新民府分館

戶主	三女	次女	長女	妻	戶主	妻	戶主	長女	妻	戶主	戶主
崔道述	福禮	星禮	七星禮	金	崔道守	金	崔錫基	福今	朴	申相雲	南萬熙
六才	九才	十一才	二十六才	三十三才	十九才	二十一才	四才	二十六才	二十五才	十四才	十四才

S 1.1.1.0-8 4797 0217



大母方

詳細照可

機密公券二號

昭和七年一月二十二日

在新民府

分館主任 土屋 波



外務大臣 芳澤 謙吉 殿

管内彰武縣居住鮮農避難雜領報ノ件

本件ニ因シ本月二十一日附機密公券九号松信ヲ以テ  
報告申進置キタル處彰武縣居住鮮農四戸十  
五名ハ再ヒ一月二十日当地ニ來着保護方申出アリタルカ  
翌二十一日更ニ七戸三十二名來着シタルヲ以テ前回ニ

在奉天日本總領事館新民府分館

S 1.1.1.0-8

4799

0219

原籍奉南成川鄧五頭西一青里

原籍慶南密陽郡上西面新洞

妻	徐	二十一年才	氏
長男	宗	五才	吉
次男	崔	十五才	大
母	金	四十才	長
弟	宗	十二才	植
妹	給	四才	順
叔父	允	二十才	道
戸主	金	四十七才	昌
妻	桂	三十四才	氏
長男	明	十一才	浩
長女	福	二才	順

在奉天日本總領事館新民府分館

S 1.1.1.0-8

4798

0218

做ト合計十一戸四十七名ヲ同日奉山鉄道ニ依リ奉天ニ  
移送シ置キタリ  
因ニ今回避難難民ノ原籍戸主姓名並ニ家族数左記  
通りナリ

原籍

記

慶南梁山郡梁山面明谷里  
黃海道松木郡栗里面月峴里  
平北定州郡伊洞面坊川洞  
慶南密陽郡丹陽面武陵里  
平北義州郡威遠面三下洞  
同

戸主	家族数
朴時稜	六
趙鏞格	二
申亨汝	一
李官述	六
朴致周	七
朴永俊	五

在奉天日本總領事館新民府分館

S 1.1.1.0-8 4800

0220

同 同 同 同 同  
合計

白世護	五
朴承俊	二
朴泰俊	四
嚴資吾	三
金熙銓	六
十一戸	四十七

此段報告申進ス

本信篤送付先

公使 北平

奉天 朝鮮總督府外奉課長

在奉天日本總領事館新民府分館

S 1.1.1.0-8 4801

0221

救護事務



臣細田局

公第ニニ號

昭和七年二月二日

在新民府

分館主任 土屋 被 平



外務大臣 芳澤 謙吉 殿

管内新武縣居住鮮農避難報告、件

本件ニ関シ客月二十一日附機密公第九号報告ニ引続  
キ新武縣居住鮮農別紙、通リ十六戸五十四名当地  
ヲ奉天ニ避難セリ

此段報告ス

在奉天日本總領事館新民府分館

第二還

三浦

附紙添附  
昭和七年二月廿日

D

0222

S 1.1.1.0-8

4802

本信篤送付先  
公使 北平 奉天  
朝鮮總督府外事課長

在奉天日本總領事館新民府分館

S 1.1.1.0-8

4803

0223

彰武縣鮮農遊雜家族數

戶主	家族數		備考
	男	女	
尹成都	五	二	打通線經由奉山線ニ依リ当地ニ下車シタル 處直々ニ軍用列車ニテ奉天ニ移送シタル ヲ以テ短時間ニ爲リ原籍ヲ調査スル暇 ナシ
金應淑	一	三	
吳在和	二	二	
全張福	三	一	
李震傑	二	二	
張仁輔	三	二	
金亨濟	一	〇	
高光玉	〇	三	
高用漢	一	三	
朴孝濼	一	〇	
金伸鎬	一	〇	
鄭某	一	〇	
金景世	一	二	
洪泰春	一	二	
徐尚建	三	四	
白寅根	三	五	
合計十六戶	三〇	二四	

0224

S 1.1.1.0-8

4805

S 1.1.1.0-8

4804

寫送先

會文人文情條通歐亞  
計書事化報約商米細亞

大臣  
次官

電信課長

111.0.24-1

昭和7 二六五一 暗

新民府  
本省

四日前發  
二月四日前着

亞

芳澤外務大臣

土屋主任

第一號

本官發奉天宛電報

第一〇號

北滿ノ形勢ニ鑑ミ當地駐屯一ヶ大隊ハ明四日長春方面ニ出動ノ趣ナル處客月四日夜ノ匪賊襲撃事件以來在留民殊ニ婦人子供等ハ日毎恐怖ニ驅ラレ發育盛ノ子女ニ及ホス精神的影響鮮カラス既ニ二家族五名ハ當地ヲ引揚ケタルモ其他ノ家族モ時期ヲ見計ヒ引揚ケントスル意嚮ヲ洩シツツアル形勢ナルカ右軍ノ出動ヲ聞知シタル居留民正副

外務省

滿洲口... 在留邦人... 引揚キ係

0225

4806

S 1.1.1.0-8

0226

4807

S 1.1.1.0-8

會長ハ本日當館ヲ來訪シ在留民ハ客月事件ニ鑑ミ未タ不安去ラサル(ヲ)以テ又軍ノ交替ニテ人心動搖シ且匪賊等ハ舊正月ヲ扣ヘ襲撃ノ機會ヲ狙ヒ居ル矢先ナレハ支那側ノ動搖モ鮮カラサル折柄萬一交替兵ノ到着前ニ出動スルカ如キコトナレハ明(脱?)安全地帯ニ引揚ノ外ナシトノ申出アリ試ニ引揚者ハ何人ナルヤト尋ネタルニ市中側全部ナリト答ヘタリ  
右ハ當地在留民現在ノ心境ヲ物語ルモノニテ事實上同情スヘキ狀況ナリ  
他方軍隊ハ再ヒ本邦人カ襲撃ヲ蒙ルカ如キコトアラハ面目ニモカカハルモノトシテ晝夜緊張シ今尙戰時狀態ヲ繼續シ居ルモ軍力一ヶ月内外ニテ頻繁ニ移動スルハ一般ノ人心ニ無益ノ動搖ヲ與フルモノニ

外務省

寫送先

大臣 次官  
電信課長  
亞細亞  
歐米  
通商  
條約  
情報  
文化  
人事  
會計

類A.1.1.0.2/1

昭和7 三〇六一 暗 新民府 七日 前發  
本省 二月七日 後着 亞、人  
芳澤外務大臣 土屋分館主任

第一二號  
本官發奉天宛電報

第六號  
客年ノ事變發生以來館務輻輳シ來リタルハ獨リ常館ニ限ル次第ニア  
ラサル處此當地ニ於テハ軍隊、憲兵隊、指導部等トノ間ニ出先トシ  
テ遊處スルニ鮮カラス苦心アリ今日ノ處概テ遺憾ナキ次第ナルカ此  
間本官トシテハ晝夜努力シ居ルニ拘ラス猶手不足ヲ痛感シ諸報告ノ  
如キ動モスレハ遲延勝チトナリ居ル狀況ナルヲ以テ最少シ成行ヲ見

外務省

S 1.1.1.0-8 4809

0228 (記)

テ現在ノ實情ニ照シ香シカラスト思考セラレ  
大臣、支、北平、長春へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-8 4808

0227



定メタル上別ニ館員ノ増員又ハ<sup>臨時</sup>増援方本省ニ具申スル考ナル  
處當館配屬閣東廳警察ハ部長及巡查ノ二名ニ過キス巡查ハ主トシテ  
當館事務ノ補助ヲナシ居タルカ最近警察事務モ煩雜トナリ雙方共ニ  
手不足ヲ感シツツアル反面現在應援警察官五名ハ單ニ市中ノ査察ヲ  
ナス位ニシテ事務上ノ補助トハナラス目下軍隊駐屯ノ折柄(將來聯  
隊本部設置説アリ)多額ノ旅費ヲ支給スル程ニ效果少ナキ状態ナル  
ノミナラス時局解決ノ曉ハ當管内ニ内鮮人ノ入込ミ來ルハ自然ノ勢  
ニシテ之カ保護ノ必要上現在ヨリ警察力ヲ充實シ置クノ要ヲ認メラ  
ルルト共ニ錦州トノ<sup>釣</sup>合モアリ此際是非トモ警部補及巡查五名位ヲ  
置キ陣容ヲ建直スコトト致度キニ付右事情御賢察ノ上警察側ト御協  
議相成至急御詮議ヲ請フ

外務省

S 1.1.1.0-8 4810 0229

大臣へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-8 4811 0230

寫送先

大臣  
電信課長  
次官  
亞細亞  
歐米  
通商  
條約  
情報  
文化  
人事  
文書  
會計

分類 1.1.1.0-21-1 )

電信課長

昭和7 一一三八九 暗

新民府  
本省

五月十日 後發

亞二

芳澤外務大臣

土屋分館主任

第三八號

貴大臣發(奉天宛?)電報第二五一號ニ關シ

當館ハ四月以降救護シタル者無シ

奉天へ轉電セリ

滿洲日支關係  
在写印人係及引揚自  
關係一件

外務省

S 1.1.1.0-8

4812

0231

(記)



昭 和 七 年 七 月 廿 四 日

在 新 民 府

分 館 主 任 土 屋 波 平

外務大臣伯爵 内田 康 哉 殿

昭 和 七 年 七 月 廿 四 日 附 森 島 總 領 事 代 理 宛 公 信

公 領 第 六 八 號 寫 送 附

件 名

一、彰武縣歸還鮮農ノ最近狀況報告方ノ件

亞細亞  
公 第 一 五 二 號  
別紙添附



0232

S 1.1.1.0-8

4813



公領第六八號

昭和七年七月廿四日

在新民府

分館主任 土屋波平

在奉天

總領事代理 森島守人 殿

彰武縣歸還鮮農ノ最近狀況報告方ノ件

彰武縣王家街居住ノ目下同地農務夜々長タル金禮宗カ今回亡父ノ供養ノ爲メ原籍平安北道定州郡德達面六星洞ニ赴ク途次當館ニ立寄り同地ノ近況トシテ語リタル所ニ依レハ本年ノ農作物ハ目下ノ處成績平年作以上良好ニシテ除草モ既ニ第三回目ノ最中一時ハ旱魃ニ因ル被害ヲ憂ヒタルモ今ヤ水量潤澤ナリ然レ共王家街地方支那人等ハ最近日本警察官ノ巡廻視察絶ヘタル以來歸還當時ノ如キ同情的態度一變シテ幾分歴

0233

4814

S 1.1.1.0-8

迫カマシキ態度トナレリ又最近馬匪賊ノ横行ナキニアラサルモ未ダ惡化シ居ラス尙今後收穫期迄約三ヶ月間ヲ要スル處一般農民ノ生活ハ過般來救済金及貸附金ノ交付ニ依リ緩和サレタルモ事實上未ダ困難ノ狀況ニアルヲ以テ再度ノ融通ヲ希望シツ、アリ因ニ彰武縣歸還鮮農ハ現在ノ處三七戸一三〇名ニシテ今春植付完了濟水田實面積二百二十三天地ノ内過般ノ旱魃ニ因リ約十天地ノ被害アリタルモ其他ハ前述ノ通り一般成績良好ナリ御參考迄此段報告ス

0234

4815

S 1.1.1.0-8

本信寫送付先

外務大臣

關東長官

朝鮮總督府外事課長

日支軍衝突事變係係再  
在函那人待親打場下原

電信課長

昭和7 二一九四八 略

新民府 本省

二日後發 十月二日後着

亞

内田外務大臣

土屋主任

大臣 次官

第六五號

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

本官發駐滿全權宛電報第四號

往電第三號ノ通移動シタル匪賊ハ最近再ヒ當地方ニ集中ノ形勢アリ  
昨一日夜ハ約三千ノ各種匪賊合体シテ新民襲撃ノ計畫アル事ヲ探知  
シ軍隊側ノ申出ニ依リ在留民ヲ早目ニ當館ニ收容シ軍隊モ徹宵警戒  
ニ就キタル處幸ヒ賊ノ襲撃ハ受ケサリシカ今後モ油斷無ク警戒ヲ要  
スル狀況ナリ  
奉天へ轉報アリタシ  
大臣、支、北平、長春、鐵嶺、遼陽へ轉電セリ

寫送先

外務省

S 1.1.1.0-8 4816

0235

7.11.12

亞細亞 公 第 二四〇號 第三課

昭和七年十一月四日

昭和七年十一月拾壹日接  
別紙添附

0236

在新民府

分館主任 土屋波

外務大臣伯爵 内田 康 哉 殿

昭和七年十一月四日附 武藤特命全權大使 宛公信

普通第三七號寫送附

件名

一、彰武歸還鮮農ノ近況ニ關スル件

S 1.1.1.0-8 4817

普通第三七號

昭和七年十一月四日

在新民府

分館主任 土屋 波平



滿洲派遣特命全權大使 武藤信義殿

彰武歸還鮮農ノ近況ニ關スル件

管内彰武縣王家街ニ歸還シタル鮮農ノ消息最近不明ナルヲ以テ收穫期ニ於ケル狀況調査ノ爲メ當館警察官ヲ派遣シタル處其ノ復命ニヨレハ

一、刈込狀況及成績

十月中旬迄ニ刈取終了目下穀落ノ最中十一月二十日迄ニハ完了ノ見込今春植付面積二百二十三天地ノ處旱魃ニ因ル被害約十天地アリ其餘ハ成績良好ナリシカ結實期ニ接近シ「天蟲」ノ被害約七十天地ニ及ヒタルヲ以テ無被害水田ハ約百三四十天地トナレリ而シテ其ノ收穫高一天地當

S 1.1.1.0-8

4818

0237

リ約五六石ノ模様

一、農務稷員及一般鮮農ノ狀況

同稷員中多少「天蟲」ノ被害ヲ蒙リヨタル者アルモ今春東亞勸業公司ヨリ借入シタル融通金返済ニハ支障ナキ模様ナルト共ニ稷員自身モ亦其ノ覺悟ニ在ル由

0238

尙稷員外ノ中ニハ滿洲國人地主ヨリ借済金アリ今年度中完済ノ見込ミ立タタサル者アルモ右ハ「天蟲」ノ被害アリ已ム無ク翌年度ニ持越ス者ニテ地主側

モ事情ヲ諒トシ居ル模様

一、地主對鮮農ノ感情

至極圓滿ナリ又滿洲國側官憲モ鮮農ニ對シ好意ヲ寄セ居ル模様

4819

一、匪賊

最近匪賊ノ出沒ナク極メテ泰平ナリ

一、生活狀況

生活ハ貧弱ナルモ現在ノ處收穫額ト高粱トノ交換ニ依リ食料ニ窮セス

S 1.1.1.0-8

寫送先

大臣 次官 電信課長  
會文人事情條通歐亞細亞  
計書事化報約商米

分類 1.1.0-21-1

昭和 8 七三八八 暗 新民府 四日後發 亞二  
 内田外務大臣 本 省 四月四日後着  
 第八號 土屋分館主任  
 貴大臣發滿宛電報  
 第二二九號ニ關シ  
 當館ニハ救護費ヲ要セス  
 滿へ轉電セリ

S 1.1.1.0-8 4821

0240

外務省

住居ハ一間房子ニ一戸ヲ高級トシ低級ナルハ之レヲ四戸ニ佳切リ生活シ居ル  
 モノアリ  
 尙同地方ハ野菜耕作不適當ナルカ如ク悉ク他處ヨリ購求スルノ外ナキ狀況ナ  
 リ  
 右御參考迄此段報告ス  
 本信寫送付先  
 外務大臣  
 奉天 長春  
 關東廳警務局長  
 朝鮮總督府外專課長  
 京亞勸業公司

S 1.1.1.0-8 4820

0239

秘

長岡電

七傳付之

継続存置

リ又あつらん

付甲の心算

ノ任事らるる

方之長シ様

空井係りあり

電信寫

昭和8

暗

新民府  
本省

四月十日  
後着

監二

内田外務大臣

土屋主任

第九號

往電第三號ニ付シ

打虎山警察官派出所設置ハ如何相成タリヤ四月分經費モ捻出ノ途無

キ折柄早目ニ御決定ノ上何分ノ儀御指示相成度シ

満、奉天へ轉電セリ

打ち給費(僻部を以て)  
三月五日 一月分 一五円

上抽

九回

0241

4822

S 1.1.1.0-8

折梯山、  
コト

寫

機密第七七號

昭和八年五月十一日

在新民府

分館主任 土屋 波平

在滿洲國

特命全權大使 武藤 信義 殿

臺安縣居住邦人ノ警察官定期巡廻方申出ニ關スル件

遼陽領事館管内臺安縣城ニハ目下本邦人四十名内外居住ノ趣ナル  
處先般大虎山居留民會長岩崎萬藏カ當館來訪ノ際臺安日本人會ノ  
依頼ナリトテ同地邦人ハ日本側官憲ノ保護ニ浴スルヲ希望シ地理  
的便宜上大虎山駐在警察官ヲシテ定期巡廻セシメラレ度旨申出有

在奉天日本總領事館新民府分館

S 1.1.1.0-8

4824

0243

突

(分類 1.1.1.0.21-1)  
録

件名

一、臺安縣居住邦人ノ警察官定期巡廻方申出ニ關スル件

機密第七七號 寫送附

昭和八年五月十一日附 武藤特命全權大使宛 公信

外務大臣伯爵 内 田 康 哉 殿

人事課

存付簿

在新民府

分館主任 土屋 波

新民府 印

亞細亞局  
機密公 第一三五號

昭和八年五月十一日

滿洲事變  
居留民保護引揚及遼陽警察

別紙添附

接受

計會  
8.5.23  
付受

S 1.1.1.0-8

4823

0242

8.5.20



之タル處右ハ管轄區域ノ關係上當館ノ即刻措置ハ不可能ナルモ同  
地邦人ノ保護取締上理由ナキ申出ニアラサル次第ナルヲ以テ適當  
ノ機會ニ上司ニ報告何分ノ指示ヲ俟ツコト、スヘキ旨回答致シ置  
キタリ

尙大虎山ハ四月ヨリ警察官二名駐在シ居ルニ過キス同地ニ於ケル  
警察事務ノミニテモ手不足ヲ感シ居ル狀況ニ有之附近ノ黒山、八  
道溝、高山子、新立屯等居住者ニ對スル保護及取締上行届カサル  
憾ミアリ況ンヤ彰武、臺安ニハ現狀ニ於テハ全然不可能ナルヲ以  
テ増員方申越シ居ル次第ナルニ付テハ可然御詮議相仰度シ  
右何等御参考迄此段報告旁申進ス  
本信寫送付先

在奉天日本總領事館新民府分館

0244

4825

S 1.1.1.0-8

0245

4826

S 1.1.1.0-8

外務大臣  
奉天 遼陽  
關東廳警務局長

在奉天日本總領事館新民府分館

秘

寫

電信寫

内田外務大臣

第一七一號

本官發滿宛電報

第一五〇號

暗

奉天 五月廿九日後着

蜂谷總領事

亞二

海龍發貴大使宛電報第五號並新民發大臣宛電報第九號ニ關シ  
大臣ヨリ未タ何等回答ニ接セサル處現地警察官(清源打虎山兩地ハ  
目下當館警察官ヲ派遣シ居レリ)等ハ事務費規定旅費等ノ支出決定  
シ居ラサル爲多大ノ不安ヲ感シ居リ延テハ事務遂行上ニモ支障鮮カ  
ラサル趣ニ付若シ與地派出所ノ外務省引直手間取ルニ於テハ切メテ

當分ノ内出張旅費並事務費等ハ本省ヨリ支出アル様御察煩度有ハ  
御承知ノ通身分系統ヲ異ニスル是等關東廳警察官ヲ有效ニ指導監督  
スル上ヨリ見ルモ進テ外務省ヨリ此ノ種經費ヲ支出スル方有利ナル  
ヘシト思考シ居ル次第ナリ  
大臣。海龍、新民府へ轉電セリ

0246

S 1.1.1.0-3 4828

S 1.1.1.0-8 4827

REEL No. A-0078

アジア歴史資料センター

秘

電信寫

内田外務大臣

第五七九號

新京  
本省

五月卅日後着

武藤大使

亞、會

奉天發本使宛電報第一五〇號ニ關シ  
清源、打虎山派出所ノ經費ハ一箇所打切旅費一箇月三十七圓（巡查  
二名各十五圓巡捕一名七圓）及事務費三十圓ニテ存積シ得ル次第ニ  
付特ニ御承認ノ上同經費新民及海龍ニ送金相成様致度シ  
奉天、海龍、新民府へ轉電セリ

0247

S 1.1.1.0-8 4829

秘

昭和8

暗

奉天  
本省

六月一日後發

蜂谷總領事

會

内田外務大臣

第一七二號

（在系、打第）

在滿大使發閣下宛電報第五七九號ニ關シ

昨年度ハ巡查一五回巡捕九回ノ月額打切旅費ヲ給シタルニ付テハ本

年度モ是非同額御支出相成様致度シ

滿、海龍、新民府へ轉電セリ

電信寫

9

S 1.1.1.0-8

4830

0248

發電昭和八年六月一日

打虎山、清原兩警察官派出所員ニ對スル打切旅費ノ件

新京 武藤大使

内田大臣

暗第四四四號

奉天發貴大使宛電報第一五〇號ニ關シ

屢次電報ノ通警察増員ニ要スル豫備金支出ノ件未決定ノ爲各種新規施設上困難ヲ成シ居ル次第ナル處打虎山、清原兩派出所ノ經費ニ付テハ特ニ差繰リ客年度出張（員同様ノ額）月額巡查一五圓、巡捕九圓）ヲ打切旅費トシテ四月分ヨリ支給スルコトトシ差當リ右第一期分金三百六圓ヲ滿洲事件費旅費ヨリ在奉天出納官吏宛一括前渡電送ス

奉天、新民、海龍ニ轉電セリ

外務省

は(シ)

8.4

6 1.1.1.0-8

4831

024

秘

電信寫

内田外務大臣

第一七七號

本官發滿宛電報

第一六一號

大臣發貴大使宛電報第四四四號ニ關シ

打虎山、清原兩派出署出張員ニ對スル經費ハ打切旅費ノミ支給サレ  
事務費ノ支出無之様存セラルル處右事務費ハ御承知ノ通り先年度ハ  
朝鮮總督府側ヨリ月額五十圓宛ノ支出ヲ受ケ來レル關係モアルニ付  
本年度モ同様支出方貴地朝鮮總督府出張員ニ御懇談煩度、尙朝鮮側

ニ於テ支出方承諾セサル際ハ本省ヨリ支給アル様御高配ヲ請フ但シ  
月額ハ當分燃料費ヲ必要トセサル間ハ貴電ノ通り三十圓ニテ充分ノ  
見込ナリ  
大臣ニ轉電セリ

暗奉天  
本省

六月二日後着

蜂谷總領事

亞二、會

S 1.1.1.0-3

4833

S 1.1.1.0-3

4832

0250